

そらこめ通信

No.65 2015年12月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

11月24日から25日にかけて北海道内の各所に降り続いた雪は、札幌市では44センチの積雪となりました。札幌管区気象台によると、札幌市で11月に積雪が40センチを超えたのは、62年ぶりとか。62年前と言えば、昭和28年です。惜しくも、私は生まれておりません(笑)。網走市でも24日一日に降った雪が32センチになり、11月の降雪量としては過去最高を記録したとのこと。気象庁の発表によれば、今年の冬は北海道と東北地方を除く、東日本や西日本などは暖冬傾向なのだとか。強いエルニーニョ現象の影響らしいですが、北海道と東北はどうやら今年は寒い冬になりそうです。

11月26日(木)午後から、深川市内のホテルにおいて「五つ星お米マイスター」として活躍する西島豊造さんの講演会が開催されました。北海道農業近代化技術研究センターさん主催による「地域活性化推進事業」の一環として催されたもので、講演のテーマは「変わるお米の世界—産地はどう対応するのか」でした。講演の内容ですが、ひとつには「TPP発効を前に産地間の競争が激しくなっており、その中で産地を守るにはどうするか」という事。せっかく北海道の米の旨さが国中に認知され始めてきた今、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」などのブランドをどうしたら維持できるのかという事とリンクする話でした。西島さんいわく、「JAさんが中心となり地域全体で食味数値の管理などを徹底するなど、ブランド規格の再設定による差別化が必要なのは・・・」というお話でした。流通業界側に立つ人の意見としては、もっともな意見ではありません。いずれにしても興味深いテーマでした。



トラックへ米の積み込み作業(11月2日)



もうじき稼働するもみ殻燻炭器(11月2日)



翌春の排水性を考え溝が掘られた水田



育苗が終わったあと、花卉の栽培に使われていたビニールハウスを一家総出で片づけているところ(11月2日)



検査機関から返ってきた圃場ごとの食味数値の単票(左)と、それを元に作成した一覧表(中)、写真右は今年の圃場図(11月11日)



農業近代化技術研究センター主催の講演会に参加、ご挨拶される細越理事長さん(中)と空知総合振興局長の金田さん(右)(11月26日)



この日の講師は(株)スズノブ代表取締役の西島豊造さん。テーマは「変わるお米の世界—産地はどう対応するのか」でした。



講演会の第2部はおしゃれな農作業着(女性用)のファッションショーでした。西島さんの話は大変参考になりました。実際に生産する側として、他者と強調しながらブランドを守る事に依存はありません。ただ、自分たちの将来の有りようも含めて他者に依存しすぎる事があるなら、それは問題かも知れません。TPP発効が近いからこそ、わが身の守り方だけは「自分で考え自分で判断したい」ものだと考えております。

本社もすっかり雪化粧(11月28日)

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
ブログ「生産日誌」更新中です